



# みらい

## 秋 特集

### 「秋を感じろ」行事特集

#### 原町共生授産園

#### 秋の学芸会：パントマイムショー♪

9月28日(水)



9月28日(水)に、パントマイム演者のエンジョイjoyさんをお招きし、秋の学芸会を開催しました。手や体でいろんな表現をするパントマイムに利用者さんも興味津々！

風船を5つ同時に膨らませたり、重そうに靴をもつ動きに「すごーい!」「上手!!」と感動していました。迫力あるパフォーマンスを間近で見ることができ、利用者さんも大満足でした。



#### 東洋健生園

#### 食欲の秋!!

10月5日(水)

10月5日(水)に「秋祭り」を施設内で行いました。温かい豚汁や、今が「旬」のブドウや柿を食べました。普段と違った雰囲気での食事はみんな大満足!! 楽しいひと時を過ごすことが出来ました!!



#### 東洋学園成人部

#### グラウンドで粗大運動!

9月

9月に入り心地よい風が吹く中、グラウンドでダンス、フリスビー、ゴルフを行いました。音楽に合わせてリズム体操からスタート!手を繋ぎ大きな円を作ったり、思い思いのダンスを踊りました。次はゴルフ!少し離れた場所からゴールめがけて玉を打ちますが、思わぬ方向に行き苦戦していた利用者さんも…。しかし、根気よく何度も挑戦し、ゴールした際は、皆で拍手!! 楽しく体を動かすことが出来ました。





# 特集「秋を感じる」行事特集

## のびっこらんど

### 親子でミニミニ運動会!

9月17日(土)

9月17日(土)に親子でミニミニ運動会を開催しました。準備運動としてエビカニクス体操をしたらスタートです!特にトランポリンをお子さんと一緒に跳んだお母さんからは、とても高くジャンプできるので、「びっくりした」「大きく跳んで楽しい」と好評でした。大玉転がし、玉入れ、バルーンと競技を楽しみ最後の出し物は、スタッフによるパネルシアター「おおきなかぶ」。みんな集中して聞くことができました。



## のびっこらんど 泉

9月29日(木)

9月29日(木)、午後の集団利用の未就学さんが、のびっこらんど泉の畑『ハッピー畑』でさつまいも掘りを行いました。今回は、素手でさつまいも掘りに挑戦!土の感触は冷たくてサラサラして気持ちよかったね。そして、土の中からさつまいもを見つけると、「わあー!大きいのがあったー!!」と大興奮の子どもたち♪帰りのお迎えのとき、『今日さつまいも採ったよ!』や『早く食べたいな〜』とおうちの方に伝えていました。みんな、どんなさつまいも料理を食べたのかな? ハッピー畑で採れた野菜でみんなが“ハッピー”になりますように!



## のびっこらんど相馬

### 先どり!ハロウィン~ぬりえ

10月3日(月)

10月3日(月)、10月と言えば「ハロウィン!」ということで、月末のイベントに向けてみんなでぬりえをしました。まさかの激辛キャンディや毒キノコにやられた紫色のオバケ、鼻血を出したフランケンシュタインと個性豊かなキャラクターが勢ぞろい。今までは1色だった色づかいも、色とりどりの配色でとっても楽しそう~。子どもたちの成長を感じたひと時でした。最後にあやしい呪文を唱えるドラキュラと魔女になりきってポーズ。ちょっと早めのハロウィンデイ♪でした。



## スポーツの秋

今年の秋は、『皆で運動!体を動かそう!』という事で、トランポリンやバランスボール、室内歩行、回転するレッグマジックなどで体を動かしている子どもたちです。回転するレッグマジックは最近登場!子どもたちに大人気です(^o^)理学療法士の先生とも楽しくストレッチや体幹トレーニングなどを行い、健康維持に頑張っています。

## のびっこらんどキララ





のびっくらんど愛愛

秋の壁面づくり

9月末

9月末の1週間、未就学さんの活動で秋の壁面制作を行いました。モチーフは「とんぼ」。

羽にはダンボール紙のスタンプで模様をつけ、目はまん丸やウィンクなど自由に描き、いろいろな表情のトンボが完成しました。ストローに糸を通して腕を左右交互に動かすと「ビューン!」。空飛ぶとんぼに大満足でした。たっぷり遊んだ後はフワフワの雲の間にとんぼを貼って、かわいい秋の壁面ができました。

未就学さんのとんぼの壁面



秋の壁面を作ろう

9月12日(月)~16日(金)

9月12日(月)~16日(金)まで、壁面制作を行いました。クラスを分けて、トンボとコスモスの壁面を作りました。トンボでは、目玉に色を塗り、切った体のパーツを、トンボの形にして糊付けし完成させました。コスモスでは、線の引いてある紙をハサミで切り、その紙を重ね合わせ糊付けし完成させました。「先生、見て! 上手にできたよ!」と、自分で作った作品をスタッフに見せてくれるお友達もいました。夏の壁面からの衣替え。一気に秋の季節を感じる壁面となりました。

たむら地方児童発達支援センター



おおくま共生園

枝豆の実食・さつまいもの収穫!

9月26日(月)

おおくま農園で育てていた、枝豆とさつまいもが収穫されました!

枝豆は、茹でて塩で味付けをしみんなで食べました。さつまいもも、たくさん収穫されました。熟成させてから後日頂きたいと思います! その日が待ち遠しいですね(^o^)/



秋の風!!

9月27日(火)

9月27日(火)、田村市運動公園に行き、競技場の周りをみんなでリフレッシュのため、散歩しました。

高台にある公園は、秋風がとても気持ちよく、絶好のお散歩日和でした。風が吹くと「気持ちいいね。」とみんな笑顔! 虫の音が聞こえてくると、「コオロギが鳴いているよ。」と職員に教えてくれる利用者の方も! いろいろな発見があるたびに、みんなでわいわいおしゃべりしながら、楽しく体を動かすことができました。

多機能型事業所 田村



ワークスペース・アシスト

秋晴れ、きもちいいな~

10月1日(土)

秋晴れの続いた10月1日(土)に、北泉の公園に出かけました。歩道には、ドングリや栗のイガが落ちており、季節の変化を感じました。とはいえ、歩くと暑く、汗をかきながら遊具も楽しみました。また、海まで足を延ばし、波の音を聞きながら、遠くに船を眺め、のんびり過ごしました。「きもちいいな~」という声があちこちから聞かれ、良い気分転換ができました。





## 障がい者入所支援施設

東洋育成園 田村市(船引町)

8月第3班バスドライブへ

東洋育成園では、6月・7月に実施した1班・2班に続き3班目がバスドライブ(市内大越町のつつじが丘公園)へ行きました!コロナ禍がまだ続いている中で利用者の方々がリフレッシュできるようにと、おやつと飲み物を持って出かけました☆

外の景色を見て「あの花はなんだろう?」「犬が散歩してるよ」など、たくさんの発見がありみんな笑顔で楽しくドライブ出来たと思います!利用者の方が「また行きたいね」「楽しかった、ありがとう」とお礼をたくさんもらって、職員も楽しく取り組むことが出来ました☆これからもコロナに負けないように、園を笑顔で染めていけると良いと思っています。帰園後はみんなで楽しくお弁当を食べました☆



8月



あぶくま更生園 田村市(船引町)

かき氷納め!!

今年の夏は3回かき氷を食べました!いちご・ブルーハワイ・メロン・抹茶の4種から好きな味を選び、暑い身体を冷やすように美味しそうに食べていました。大人気はメロンでした!名残惜しい声が聞こえましたが来年に乞うご期待★



## 福祉型障がい児入所施設

東洋学園児童部 いわき市(四倉町)

9月18日

9月18日(日)に、好きなお店でテイクアウトしたご飯を食べる活動を行いました。子どもたちは自分が選んだご飯を食べて大満足!食べることも楽しみですが、『自分で選ぶ』という活動が子どもたちにとってはとてもわくわくすることで、前日には「テイクアウト楽しみ。」とニコニコとしながら話していました。自分で選んだメニューはとっても美味しかったね。



原町学園 相馬市

山頂めざして頑張りました!

9月17日

9月17日(土)に3年ぶりに新地町の鹿狼山に登山に行きました。絶好の登山日和となり、山頂めざし、いざ出発!上級者コースを軽々と登っていく利用者さん、初心者コースを息を切らし休みながら登る職員も…。途中、登山者と挨拶を交わしたり、お互いに声を掛け合ったりして、全員無事に登頂しました。頂上は雲に覆われていましたが、晴れている下界を望む景色もまた絶景で、解放感と達成感でいっぱいになりました。

その後、原釜海水浴場に行き、特別弁当のお昼ご飯!お腹も満たされ、海の眺めを堪能したり、日向ぼっこをしたままお昼寝したり、浜辺でキャッチボールをしたり。各々登山の疲れを癒すべく、ゆっくりとした時間を過ごしました。いい思い出になりましたね。



## 障がい児通所支援事業所

のびっくらんど悠悠 いわき市(平)

9月14日

9月14日(水)は、まだ暑さが残る日でしたが、事業所周辺をみんなで散策しました。田んぼの黄金色の稲穂やトンボ、バッタ、お芋畑でお芋のツルを不思議そうに見入っていました。

9月16日(金)は、薄磯海岸で貝拾いをしました。貝を見つけるたびに、大きさ、色、形の違いに気付いて「みてみてー」と嬉しそうに教えてくれました♡また、みんなでお出かけして、沢山の不思議なものをみつけようね!





**のびっくらんど原町 南相馬市(原町区)**

**敬老の日**

9月2週目

9月の2週目。9月19日(月)は「敬老の日」…という事で未就さんも学童さんも大好きなおじいちゃん・おばあちゃんへプレゼントとして「しおり」を作りました。未就さんは顔写真付き。学童さんは手書きのメッセージを書きました。出来たしおりは目の前でラミネート加工して裁断機で形を整えて出来上がり。初めて見る不思議な機械に全員目が釘付けになっていました。「いつもありがとう」「元気で長生きしてね」そんな気持ちが込められた素敵なプレゼントができました。



**のびっくらんど田村 田村市(船引町)**

**よーくねらって!**

9月14日

9月14日(水)、集団課題でわなげを行いました。ルールは、白い線から投げること。お友だちやスタッフに応援されながら、5つのリングを棒に向かって投げました。子どもたちは、「たくさん入ってうれしい!」「うまくできなくてくやしい」とさまざまな気持ちを感じながら取り組んでいたようでした。みんな、最後までがんばったね!!



**のびっくらんど美山 田村市(船引町)**

**すごろく**

10月6日

10月6日(木)の集団課題ですごろくを行いました。自分がコマになって、出た目を進みます。マスには、「片足上げ30秒!クリアしたら1歩前へ!」などのチャンスマスや「トランポリンを30回とぼう!」などのチャレンジマスもあり、お題をクリアしながらゴールを目指しました!



**のびっくらんど三春 田村郡(三春町)**

**楽しいボディペインティング!**

9月13日

9月13日(火)にボディペインティングを実施しました!好きな色を手にとると足や腕、手に絵の具をつけて感触を楽しんでいました。絵具を混ぜて「あ、ピンクになったねえ」と色の変化を楽しむ様子もいました。紙の上をパタパタと歩き、手形足形をつけ思い思いに表現することができました。



**就労支援事業所・多機能型事業所**

**せきれい いわき市(四倉町)**

**誕生会をやりました!**

9月10日

9月10日(土)に利用者の合同誕生日会🎂🎊を行いました。利用者の皆さん、シャインマスカット入りの綺麗なケーキをおいしそうに食べて、笑顔が見られました😊



**地域生活支援事業所**

**田村地方基幹相談支援センター 田村市(船引町)**

**令和4年度福島県障がい者相談支援従事者養成研修**

田村地方基幹相談支援センターは、地域の相談支援における人材育成の役割も担っており、福島県障がい者相談支援従事者養成研修では、集合での研修の間に各圏域の基幹相談支援センターでの実地研修を行うこととなっております。田村圏域では、8月31日(水)2名の受講者が来所し、①基幹相談支援センターについて②地域の相談支援体制について③地域自立支援協議会についてという3つのテーマを中心に、相談支援専門員としての心得を講義しました。

また、9月29日(木)には実際の演習講義を見学し、相談支援専門員の卵である受講者が学びを獲得するためのファシリテーターとしての活動を学び、県の研修と連動した自圏域でのフォローアップ体制や人材育成への取り組みのヒントを得る機会となりました。

計10日間の研修を修了し、相談支援専門員となった暁には、本人に寄り添い、ともに地域生活を支えられることを心待ちにしております!

8月31日

9月29日







# 新採用職員現況報告特集



今年4月の新採用職員の中から「社会人」1年生の8名の職員の現在の状況や今後の目標などについてご報告します。

東洋学園成人部  
支援員  
鈴木 未来弥



東洋学園成人部に入社した当初は、利用者の方との関わり方や業務について不安でいっぱいでしたが、先輩方から優しく教えていただき足早に6ヵ月が経過しました。6ヵ月経過し、大学で学んだ知識と実際の現場での相違があることに気づき、日々先輩方に対応方法について相談することや、勉強を行い利用者の方について理解を深めることができるよう努めてきました。仕事にも少しずつ慣れてきましたが、今後は教えていただいた知識等を忘れず日々勉強を深め利用者の方に合った接し方を模索し実践できるようにしていきたいと考えています。

東洋学園成人部  
支援員  
山田 智紀



学生時代に実習やボランティア等を通して障がいがある方と関わる機会があり、ある程度障がいについて理解してきたつもりでしたが、当法人に入職し実際に日々の業務の中で利用者さんと関わってみて、自分自身の知識不足や支援の難しさを痛感しました。入職当初と比べれば利用者さんの特性や業務内容について把握することができるようになってきましたが、よりよい支援・サービスを提供していくためには、今後さらなる努力が必要であると感じています。日々の業務の中で先輩方や利用者さんから多くのことを吸収し、スキルアップしていけるよう努力していきたいと思っています。

あぶくま更生園  
支援員  
金沢 香澄



入社から6か月が過ぎ、慣れないことばかりで正直大変なこともありましたが、利用者さんの笑顔と、とても優しく、明るく接してくださる先輩方の下、日々充実した毎日を過ごしています。特に、デザート支援やバス外出などを通して、普段見ることのできない利用者さんの表情を見られたのが印象に残っています。今後は、介護福祉士としての資格をさまざまな場面で生かしながら、利用者さんの支援にあたっていきたいです。

原町共生授産園  
支援員  
脇本 竜成



入職して6か月が経過し、先輩方にも助けてもらいながら徐々に利用者さんとの関わり方や仕事の流れを把握することができてきたと思います。しかし、私自身まだまだ未熟者である為、利用者さん一人一人に寄り添った支援ができなかったり、様々な業務を行う上で失敗することも多くあります。その為、今後は利用者さんやその保護者の方々にも信頼してもらえるような支援員になるべく、利用者さん一人一人に今まで以上に寄り添い、共に成長していければと思います。



東洋健生園  
支援員  
鈴木 桂子



今年4月に入職してから早いもので6か月が経過しました。初めは不安なことや戸惑うことも多々ありましたが、先輩職員からの丁寧な指導や助言により少しずつ自信が持てるようになってきました。何もかもが初めてだった自分にとって、恵まれた環境に感謝しています。現在、女子棟の利用者3名を担当しており、7月には個別支援計画に基づき、1名と外出支援を行いました。好きなおもちゃを選んでいる姿を見て、こちらも嬉しかったです。

今後は、より利用者主体の支援ができるように、自ら積極的に考え、実践していきたいです。そして、自分の好きな「身体を動かすこと」を生かしながら次年度に向けてステップアップを目指します。

東洋健生園  
支援員  
齋藤 麻菜



入職してから半年ほどが経ち、業務の流れや利用者さんの主な特徴を覚えることができました。わからないことがあれば先輩職員が丁寧に教えて下さり恵まれた環境にいると感じます。現在、女子棟3名の利用者さんを担当しています。8月に外出支援と昼食支援を実施し、利用者さんの笑顔が見られた際は私もうれしくなりました。

今後は、利用者さんの気持ちの変化などにも寄り添えるような支援員になりたいと思います。そのために、利用者さんの観察や他職員とのコミュニケーションを綿密に行っていきたいと思います。そして、利用者さんにとってよりよい生活となるよう支援できればと思います。

のびっこらんど泉  
言語聴覚士  
車田 かれん



入職して6か月が経過し、徐々に仕事を任せてもらえるようになり、大変ながらも毎日が勉強の日々を過ごしています。療育中、どんな時でも、とっても可愛いお子さん達の笑顔に毎日癒されています。まだまだ勉強不足だと痛感する日々ですが、初心を忘れず、お子さん一人ひとりの目線に立ち、お子さんや保護者の方々の気持ちに寄り添うことを継続して心掛けていきます。また、言語聴覚士として、お子さんたちと共にどんどん成長していけるよう、今後とも精進していきたいです。

たむら地方  
児童発達支援センター  
保育士  
白岩 千尋



新社会人として6か月が経ち、ようやく仕事内容を把握できてきたように感じています。一人ひとりの特性や理解度が異なる中、個々に合った関わり方がとても難しく、毎日模索しています。しかし、先輩スタッフの姿を手本にしながら手助けしてもらい、毎日楽しく、たくさんの事を学ばせてもらっています。今後も、自分の価値観や感性を押し付けるのではなく、個人をよく理解し、一人ひとりの特性を伸ばしていけるような療育を心掛けていきたいです。また、子ども達にとっての良い療育とは何かを、日々の関わりの中で追及し、信頼関係を築きながら共に成長していければと思います。



# 原町学園敷地内の「障害者入所支援施設」の建設状況について

原町学園施設長 堀川 国芳

原町学園の敷地内に、令和5年度開設予定の障害「者」入所支援施設の建設が7月より始まり、3ヶ月が経過しました。9月末の進捗率は「17%」となっていて、建設が進むにつれ、原町学園の役割も終わりを迎えようとしています。

原町学園は、昭和43年に福島県原町市(現在の南相馬市原町区)にて、義務教育の課程を修了した満15歳から18歳までの障害児を主とし、生活指導と職業訓練を行う施設として開所しました。当初から、地域移行の指導に特化した全国でも類を見ない児童入所施設として、自立に必要な知識、技能の習得と環境順応力、生産人としての自覚を育成し、50有余年、何人もの児童を社会へ送り出してきました。

2011年3月、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難を余儀なくされ、約半年間千葉県鴨川市を避難先として生活し、その後、現在の所在地の相馬市に帰還し、運営を継続しております。

しかしながら、社会情勢においては、少子化や特別支援学校、通所施設の充実で、原町学園が担ってきた役割が徐々に薄れ、利用児数の減少が顕著になり、さらに現在、全員が年齢超過の18歳以上の利用となっています。国が示した「みなし規定」の期限も迫っている中、入所者の地域移行も進めています。家庭の事情や受け皿不足で行き場のない利用者がいるのもまた事実であり、このことから、障害「者」の入所施設の必要性を強く思慮し、障害「児」から障害「者」への施設に移行することになりました。

～次号には新施設の概要などについてご報告します。



10月3日撮影

## 利用者コーナー

### NPO法人はらまちクラブさんを取材しました

原町共生授産園自治会

ふくしま健民カードを知っていますか？ 私たち原町共生授産園では「みなみそうま健康づくりポイント」をはじめました。この仕事をまとめているNPO法人はらまちクラブさんにお話をききました。

どんな活動をしていますか  
→「笑って楽しく健康になれることをお手伝いしています」

はらまちクラブさんは授産園にも何度もポッチャや体操で遊びに来てくれてとても楽しいです。これからも一緒に楽しい活動がしたいです。



取材:原町共生授産園自治会役員:藤田勝一さん(会長)、三川幸さん(書記)

### 「ぼくたち、「みらい」のファンです！」

のびっこらんど相馬

のびっこらんど相馬には広報誌『みらい』の発行を楽しみにしている読者がいます。

その読者に熱き思いをインタビューしてみました。

- 『みらい』を読んで、ぼくのいるのびっこらんどでは、ぼくのいない時に何をやっているのか、他ののびっこらんどではどんなことをしているのか見るのがたのしみです。
- のびっこにきた時から毎回楽しみにしています。
- たのしいイベントのよていがのっているワクワクします。
- のるイベントや出来事はどのように出しているのですか。写真もどう決めて出しているのか気になります。おしえてください！質問に対しては広報委員から丁寧に回答しました。今後の発行も楽しみにしててくださいね！



(取材:のびっこらんど広報委員・職員)

### 編集後記

- ◆新社会人6か月経過のフレッシュな「声」を特集しました。読んでみての感想はいかがでしょうか。一步、一步成長すると思いますので、あたたかく見守ってください。
- ◆早いもので今年最終号になります。コロナ感染防止対策に明け暮れた1年でした。今年まだ2か月ありますので、最後に笑うことができますように！令和5年は良い年に！！

